

What is claimed is:

1. 電子写真感光体上に色の異なる複数のトナー像を重ね合わせて形成し、重ねあわされた複数のトナー像を一括して記録紙に転写する画像形成方法であつて、前記複数のトナー像を形成する各色のトナーの濁度がそれぞれ60未満であり、且つ前記各色のトナー間の濁度の差が最大5～45であることを特徴とする画像形成方法。
2. クレーム 1 において、前記電子写真感光体がフッ素系樹脂粒子を含有する表面層を有する画像形成方法。
3. クレーム 2 において、前記フッ素系樹脂粒子の量は、感光体の表面層のバインダー樹脂に対して、0.1～90質量%である、画像形成方法。
4. クレーム 1 において、該電子写真感光体の表面に表面エネルギー低下剤を供給する、画像形成方法。
5. クレーム 4 において、前記表面エネルギー低下剤は、脂肪酸金属塩である、画像形成方法。
6. クレーム 5 において、前記電子写真感光体がフッ素系樹脂粒子を含有する表面層を有する画像形成方法。
7. クレーム 1 において、前記の各色のトナーがトナー濁度が20未満の黒色系トナーを有する、画像形成方法。
8. クレーム 1 において、前記各色のトナーの濁度がそれぞれ50未満である、画像形成方法。

9. クレーム 8 において、前記各色のトナー間の濁度の差が最大 10～35 である、画像形成方法。
10. クレーム 1 において、前記各色のトナーの濁度がそれぞれ 40 未満である、画像形成方法。
11. クレーム 1 において、前記各色のトナーは、各色のトナーのうち最大の濁度を有する黄色系のトナーを有する、画像形成方法。
12. クレーム 1 において、前記各色のトナーが、黒色系トナー、黄色系トナー、マゼンタ色系トナー及びシアン色系トナーを有する画像形成方法。
13. クレーム 12 において、前記黒系トナーのトナー濁度が 20 未満であり、前記黄色系のトナーが前記各色のトナーのうち最大濁度を有する、画像形成方法。
14. クレーム 13 において、前記各色のトナーの濁度がそれぞれ 50 未満であり、前記各色のトナー間の濁度の差が最大 10～35 である、画像形成方法。
15. クレーム 14 において、前記各色のトナーの粒径がそれぞれ体積平均粒径で 3～9 μm である、画像形成方法。
16. クレーム 1 において、該電子写真感光体の表面にステアリン酸アルミニウム、ステアリン酸インジウム、ステアリン酸ガリウム、ステアリン酸亜鉛、ステアリン酸リチウム、ステアリン酸マグネシウム、ステアリン酸ナトリウム、パルチミン酸アルミニウム及びオレイン酸アルミニウムのうちの少なくとも 1 つを供給する、画像形成方法。
17. クレーム 1 において、前記各色のトナーのうちの少なくとも 1 つが、数平均

- 粒子径が $0.05 \sim 0.5 \mu\text{m}$ の外添剤を有する、画像形成方法。
18. クレーム 1 において、前記各色のトナーの粒径がそれぞれ体積平均粒径で $3 \sim 9 \mu\text{m}$ である、画像形成方法。
 19. クレーム 1 において、前記電子写真感光体の表面層は水に対する接触角が 90° 以上である、画像形成方法。
 20. 電子写真感光体上に色の異なる複数のトナー像を重ね合わせて形成し、重ねあわされた複数のトナー像を一括して記録紙に転写する画像形成方法であって、前記複数のトナー像を形成する各色のトナーの濁度がそれぞれ 60 未満であり、且つ前記各色のトナー間の濁度の差が最大 $5 \sim 45$ であり、前記各色トナーの少なくとも 1 つが、粒度分布がトナー粒子の粒径を $D (\mu\text{m})$ とすると、自然対数 $\ln D$ を横軸にとり、この横軸を 0.23 間隔で複数の階級に分けた個数基準の粒度分布を示すヒストグラムにおいて、最頻階級に含まれるトナー粒子の相対度数 ($m1$) と、前記最頻階級の次に頻度の高い階級に含まれるトナー粒子の相対度数 ($m2$) との和 (M) が 70% 以上である、ことを特徴とする画像形成方法。
 21. クレーム 20 において、前記電子写真感光体がフッ素系樹脂粒子を含有する表面層を有する画像形成方法。
 22. クレーム 21 において、前記フッ素系樹脂粒子の量は、感光体の表面層のバインダー樹脂に対して、 $0.1 \sim 90$ 質量%である、画像形成方法。
 23. クレーム 20 において、該電子写真感光体の表面に表面エネルギー低下剤を供

給する、画像形成方法。

24. クレーム 23 において、前記表面エネルギー低下剤は、脂肪酸金属塩である、画像形成方法。
25. クレーム 24 において、前記電子写真感光体がフッ素系樹脂粒子を含有する表面層を有する画像形成方法。
26. クレーム 20 において、前記の各色のトナーがトナー濁度が 20 未満の黒色系トナーを有する、画像形成方法。
27. クレーム 20 において、前記各色のトナーの濁度がそれぞれ 50 未満である、画像形成方法。
28. クレーム 27 において、前記各色のトナー間の濁度の差が最大 10～35 である、画像形成方法。
29. クレーム 20 において、前記各色のトナーの濁度がそれぞれ 40 未満である、画像形成方法。
30. クレーム 20 において、前記各色のトナーは、各色のトナーのうち最大の濁度を有する黄色系のトナーを有する、画像形成方法。
31. クレーム 20 において、前記の各色トナーが、黒色系トナー、黄色系トナー、マゼンタ色系トナー及びシアン色系トナーを有する画像形成方法。
32. クレーム 31 において、前記黒系トナーのトナー濁度が 20 未満であり、前記黄色系のトナーが前記各色のトナーのうち最大濁度を有する、画像形成方法。
33. クレーム 32 において、前記各色のトナーの濁度がそれぞれ 50 未満であり、

前記各色のトナー間の濁度の差が最大10～35である、画像形成方法。

34. クレーム 33 において、前記各色のトナーの粒径がそれぞれ体積平均粒径で3～9 μm である、画像形成方法。
35. クレーム 20 において、該電子写真感光体の表面にステアリン酸アルミニウム、ステアリン酸インジウム、ステアリン酸ガリウム、ステアリン酸亜鉛、ステアリン酸リチウム、ステアリン酸マグネシウム、ステアリン酸ナトリウム、パルチミン酸アルミニウム及びオレイン酸アルミニウムのうちの少なくとも1つを供給する、画像形成方法。
36. クレーム 20 において、前記各色のトナーのうちの少なくとも1つが、数平均粒子径が0.05～0.5 μm の外添剤を有する、画像形成方法。
37. クレーム 20 において、前記各色のトナーの粒径がそれぞれ体積平均粒径で3～9 μm である、画像形成方法。
38. クレーム 20 において、前記電子写真感光体の表面層は水に対する接触角が90°以上である、画像形成方法。